

平成29年度第1回渋川市総合教育会議 議事録

I 開催日時

平成29年 5月29日(月) 午後3時開会 午後4時40分閉会

II 開催場所

渋川市役所本庁舎大会議室

III 出席者

【構成員】阿久津貞司市長、池田由美子教育委員長、高橋秀和教育委員長職務代理者、新井光久教育委員、高橋秀樹教育委員、後藤晃教育長

【市長部局】田中副市長、愛敬総務部長、加藤企画部長、諸田保健福祉部長、石田社会福祉課長、橋爪こども課長、儘田企画課長、後藤スポーツ課長、事務局職員2名

【教育委員会】石北教育部長、藤岡教育総務課長、名塚学校教育課長、綿貫学校給食課長、小林文化財保護課長、萩原生涯学習課長、担当職員2名

【傍聴者】 6名

IV 会議の概要

1 開会

企画課長	皆様こんにちは。本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。 定刻になりましたので、ただいまから平成29年度第1回渋川市総合教育会議を開催いたします。私は、司会を務めさせていただきます企画課長の儘田と申します。 よろしく願いいたします。 はじめに、阿久津市長からごあいさつを申し上げます。
------	---

2 市長あいさつ

阿久津市長	皆様こんにちは。渋川市長の阿久津でございます。 平成29年度第1回渋川市総合教育会議を開催したところ、教育委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席を賜り誠にありがとうございます。今回は、池田新教育委員長、また、新たに高橋秀樹委員をお迎えしての新しいスタートとなります。今後ともよろしくお願い致します。 渋川市においては、平成27年度から総合教育会議を開催させていただいておりまして、行政と教育委員さんとの連携が大変強化されたと評価しているところであります。 特に渋川市におきましては、子育てについて本格的に取り組んでおり、本年度の一般会計当初予算は、333億1千2百万円でございますが、その中で今年が目玉になりますのが、小中学校の学校給食費の完全無料化でございます。これについては、色々な方法がありまして、人口減少、少子化対策、地産地消の農業振興を含めて、地域の安全な野菜を子ども達に食べていただくということも含めての完全無料化でございます。また、生
-------	--

阿久津市長	<p>活困窮者が増えている中で、子ども達の支援になるのでは、と期待をしております。</p> <p>それと併せて、渋川総合病院の跡地を子ども達のキッズランド。これは、室内遊戯施設と併せて、子育てコンシェルジュを開設させていただきました。非常に利用度が高く、1日100人前後の方々が利用していると言うことで、心強く思っておりますし、教育、子育ては大変重要ですので、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>それと併せて、小学校のスポーツ指導員として、群馬大学の教育学部の学生さんに来てもらい指導していただき、また、中学の部活動の外部指導員として、日本体育協会の資格を39名の方にとっていただき、部活動支援を行うこととなっております。これも校長先生の理解をいただいて受入体制が整っております。</p> <p>スポーツは指導が非常に難しく、一步間違えると子ども達の成長に問題が出たり、怪我をさせたり、体を壊すという心配があるので、しっかりした指導をしていきたいと思っておりますし、スポーツを通じて文武両道というように勉強も両立していただいで、心身共に立派な社会人に育て上げたいということで、ご指導いただきたいと思っております。</p> <p>これからの教育は大変難しい部分があり、格差社会の差をどう縮めるか、どう支援していくかというのは大変重要であります。将来ある子ども達が、貧困家庭、グレーゾーンに生まれてきてしまったことは、子ども達には一切責任は無いことで、市としては、できる限り支援をしていきたいと思っております。今後も、教育委員さんのご意見を伺いながら連携して事業を進めて参りたいと思っておりますので、よろしくご意見申し上げましてごあいさつとさせていただきます。</p>
企画課長	<p>続きまして、教育委員会池田教育委員長から、ごあいさつをお願いいたします。</p>

3 教育委員長あいさつ

池田教育委員長	<p>皆様こんにちは。私は5月の定例教育委員会で、教育委員長に就任いたしました池田でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>平成29年度第1回渋川市総合教育会議の開催にあたり、教育委員会を代表してごあいさつさせていただきます。</p> <p>本市の教育におきましては、これまで渋川市総合計画を基本に学校、家庭、地域の三者連携のもと様々な課題に対応して参りました。また、今日的課題においても、これまで市長部局と連携協力しながら取り組んで参りました。特に平成27年度に設置された総合教育会議により、それまで以上に市長部局との連携が図られるようになり、大変大きな成果を上げることができました。</p> <p>平成28年度の総合教育会議では、いじめ対策、貧困家庭対策、小中学校の再編に関する課題等について協議することができました。</p> <p>このうち、いじめ対策では、本市におけるいじめ問題の現状を踏まえて今日的ないじめ問題やその対応を協議し、いじめ防止の方針や取り組みについて共通理解がなされ、教育政策に反映することができました。</p> <p>また、貧困家庭対策では、家庭における環境整備の充実と教育支援について協議し、貧困家庭支援の方策も話し合うことができました。</p>
---------	--

池田教育 委員長	<p>さらに、小中学校の再編に関する課題については、再編の長期的方針に基づく取り組みについて協議されました。</p> <p>このように、昨年度の総合教育会議においても、本市の教育に関する様々な課題について熱心に協議され、市長部局と教育委員会との連携や調整が図られたことは、大変喜ばしいことと感じております。</p> <p>今年度につきましても、総合教育会議を通して阿久津市長と私たち教育委員が、渋川市の教育全般について協議し、連携、調整できることを強く望んでいます。今後も渋川市の教育行政の更なる充実、発展のために、この総合教育会議が意義あるものとなるよう祈念して、教育委員会を代表してのあいさつに代えさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。</p>
-------------	--

4 委員等の紹介

企画課長	<p>本日は、今年度初めての会議でありますので、自己紹介をお願いいたします。</p> <p>マイクをお使いいただき、委員の皆さま方から、委員名簿の番号順に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>【委員自己紹介】</p>
企画課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、職員の自己紹介を市長部局、教育委員会事務局の順にさせていただきます。</p> <p>副市長から、出席者名簿に基づき、名簿順に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>【職員自己紹介】</p>

5 議 題

(1) 平成29年度新規・主要事業について

企画課長	<p>それでは、議題に入らせていただきます。</p> <p>渋川市総合教育会議設置要綱の規定によりまして、このあとの進行につきましては市長をお願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお祈いします。次第5の「議題」に入ります。議題(1)「平成29年度新規・主要事業について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>● 【企画部長説明】 【資料No.1-1及びNo.1-2】</p>
阿久津市長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>昨年度の第4回総合教育会議におきまして、本年度予算内示の議題でご説明させていただいておりますが、新年度の新しい体制のなかで、特に教育関連事業を中心に改めてご説明させていただきました。</p> <p>それでは、ご質問やご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくお祈いいたします。</p>

池田教育委員
長

私からは、新規の主要事業である渋川すこやかプラザのことについてお話ししたいと思います。今年度の子育て支援の新規、拡充事業では、渋川すこやかプラザ管理事業、学校給食費の完全無料化、貧困家庭における子どもの学習支援、これらのことが大きくマスコミ等でも報じられました。いずれも子育てに視点を置いた施策であり、教育委員会としても大変うれしく思っております。実際に4月1日に、子育て支援を主体とする多世代交流施設として渋川すこやかプラザが開設され、本市の子育て支援の拠点としてスタートしました。

先週実際に、私も見学させていただき、小林所長の案内で、館内施設や利用状況を見させていただきました。一日平均50組、100人程度の利用があるということで大変盛んに機能していると思っております。

屋内遊具がたくさんあって、年齢に応じた様々な遊びができるキッズランド、屋外では屋外遊具や砂場以外に小動物の飼育小屋や畑があったりする園庭など、乳幼児が五感をとおして様々な体験ができる施設で本当に素晴らしいと思えました。親子が安心して遊べる施設であり、利用している子ども同士、親同士の交流もでき、まさに育ちあえる施設だと思います。それから、そういった子ども達の遊び場だけでなく、施設内では情報交換、情報提供、相談ブースなども設置されていて、子育て世代に心強い施設と思っております。

さらにプラザ内に併設されている福祉専門学校も見学させていただきました。校長先生とも少しお話しをしましたが、介護福祉科と保育科の2学科があって大変多くの若い学生が学んでおり、介護体験学習として、お年寄りの体の様子を実際に重しをつけて体験したり、車いすに乗って介護の様子を体験するなど、活気のある学習場面を見学させていただきました。

現在、介護福祉科では、16名も留学生が学んでいて国際色豊かであるとも感じました。

渋川すこやかプラザと福祉専門学校が併設されているということは、地の利を活かした学習や体験ができるのではと思います。まだまだ、二つの施設同士が共有し合うことが、始まったばかりで難しいという話もあり、ぜひ、情報交換を密にして話し合いを十分にとり、より深い連携した事業展開が、今後さらに深められるように期待したいと思います。以上です。

こども課長

早速に、池田教育委員長、高橋職務代理がすこやかプラザを見学いただいたと、所長から報告を受けております。ありがとうございます。

本年度から、すこやかプラザ内には、交流人口の拡大や少子化対策としまして、親子を対象にしました子育て支援総合センター、若者の学びの場である福祉専門学校、また、高齢者の支援を行う拠点としての多目的ホールもございます。

先ほどご指摘のありました、併設する福祉専門学校のメリットを最大限に活かせるように、専門学校との協議を進めております。具体的には、講師の派遣や専門学生の学習成果の発表、連携の方法について協議しております。内容的には、子育て支援総合センターで子育て相談をするコンシェルジュの職員研修としての講師派遣をお願いしております。コンシェルジュ講師においては、支援センター職員だけでなく、幼稚園、保育所の臨時職員の資質向上も含めた研修をお願いしております。

また、本年度から発達に特性のある幼児の早期発見、学校での学習環境

こども課長	<p>への適応のために、幼稚園、保育所の先生方の研修も行いますが、そういった講師についてもお願いをしています。専門学校からは、生徒の成果を発表する場を設けたり、作品を展示するなど要望があり、イベント等の協力をお願いし連携を図る調整をしておるところであります。</p> <p>今後においても、保健福祉部内に、高齢福祉、子育て支援の部署など各課ございますので、福祉専門学校との情報交換をしながら、併設のメリットを最大限に活かすような、定期的な協議を行いたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
池田教育 委員長	<p>ありがとうございました。ぜひ、併設しているというメリットを最大限に活かした教育を進めていただければと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
阿久津市長	<p>ありがとうございました。ほかにありますか。</p>
高橋職務 代理	<p>先ほどのこども課長の話にもありましたが、資料No.1-1の2ページ、発達障害児支援について、保育士、幼稚園教諭向けに研修を行う講師を派遣するということですが、もう少しお教え願ひます。学校教育法の改正により、今から10年前に特殊教育から特別支援教育に改められ、今後も益々、個性を持った子の対応はしていかなければならないと思うので、よろしくお願ひします。</p>
こども課長	<p>ただいまご質問のありました子ども子育て推進事業につきましては、本年度は、発達に特性のある幼児を早期発見し、学校での学習環境へ対応できるように支援を行うということで、保育士や幼稚園教諭を対象にした研修を行うものであります。平成30年度に支援をするために、発達特性のあるお子様のアンケートを行い、対象を拾い上げまして、発達相談、発達教室を実施し、就学前の状況を把握し教育部局と連携して、学校への入学をスムーズにできるようにするものであります。よろしくお願ひいたします。</p>
高橋職務 代理	<p>この研修は、保育士と幼稚園教諭が対象とありますが、市の公立保育所、幼稚園が対象なのか、私立も対象となるのか。また、小中学校の先生も早い段階で、どう対応しているか分かると参考になると思うので、小中学校の先生方が研修を受けられる枠はあるか、そのあたりをお教え願ひます。</p>
こども課長	<p>ただいまの研修ですが、公立私立の保育所と幼稚園の先生を対象として、本年度は3回を予定しております。1回の研修で、二つの日程を考えております。すこやかプラザの相談員室、多目的ホールを会場と考えておりますので、30人から40人が受講できる体制を整えており、1回目の研修を6月14日、20日に行います。事業の目的が、学校教育にスムーズに繋げることであることから、小中学校の先生についても、会場の範囲内でお受けすることはできると考えております。以上です。</p>
高橋職務 代理	<p>ありがとうございました。親御さんは、自分の家の子どものことで一生懸命勉強しているので、特別支援も先生よりも専門的な知識や対応をして</p>

高橋職務代理	いる方がいるかもしれません。ぜひ、親御さんにもご理解・ご協力いただけるように、こども課も学校教育課もしっかり対応していかねばならないと考えお話ししました。
阿久津市長	ありがとうございました。ほかにありますか。
後藤教育長	<p>前回の総合教育会議でも若干触れさせていただきましたが、学校給食完全無料化の意義について、改めて考えてみたいと思います。学校給食無料化は、子育て世代に対する経済的支援という位置づけがされていますが、このことは、現在の学校給食が、法令で食材費の保護者負担を求めていることから、子育て世代に経済的な負担を生じさせているものと思っております。</p> <p>しかし、そもそも学校給食には、単なる3食の内の1食ではない食育の観点があると思っています。義務教育期の子どもにとって、バランスのとれた栄養の摂取は、生涯に渡って健康かつ強固な体を保持していく上で、極めて重要であり、単に個人としての健康促進の観点だけでなく、国家社会の形成者を育成するという基本目的に照らしても、学校給食の公益性は極めて強く、食育推進の観点からも公費負担の意義は大きいと考えています。また、児童や生徒が学校、家庭生活の中で、骨折するケースが多く見受けられますが、不規則な食生活が影響していると指摘する声があります。</p> <p>現在、小中学校に対して、学校経営の改善充実を図る総合訪問を実施中ですが、各校に対しましては、多額の公費が投じられていることから、給食の無料化を機に、健康教育の推進を図るほか、生活習慣改善の一環として、食事の重要性について、家庭と連携を図っていただくよう先生にお願いしているところであります。</p> <p>なお、ここ数年、本市をはじめとして全国的に学校給食を無料化、または負担軽減を図る動きが出てきていますが、国の公的財政負担の早期実現を期待したいと思うとともに、学校と連携して健康教育をアピールできるような展開が、本市においてできればと考えております。以上です。</p>
阿久津市長	ご意見と言うことで良いですね。ほかにありますか。
池田教育委員長	後藤教育長から給食の無料化について、食育の面からも力を入れていきたいという話がありました。私のほうからは、世界の中には、飢餓に苦しむ国もあることから、給食無料化の推進と併せて、食品ロスの観点から、給食の残さを少なくする手立てを、今後はさらに深めていけたらと思います。
学校給食課長	池田教育委員長がおっしゃられるように給食残さがあります。そんな中で、食育をとおして、食事の重要性、喜び、楽しさの理解、食物の大切さ、生産者への感謝の心を含めた食育推進を、学校と連携して進めていきたいと考えています。よろしく申し上げます。
阿久津市長	よろしいでしょうか。ほかにありますか。
新井委員	経済的支援の部分で、資料No.1-1の2ページ、3ページから現役の子

新井委員	<p>育て世代の立場から申し上げたいと思います。先ほどの学校給食の無料化も継続してお願いしますが、渋川スカイランドパークの無料優待券について、どのくらいの効果というか、利用状況がなされているのか教えていただければと思います。</p>
保健福祉部長	<p>スカイランドパークにつきましては、中学生以下を対象に優待券を配布しております。同行者も無料となっており、昨年度実績では9,009人が招待券で無料となっております。</p>
新井委員	<p>ありがとうございます。現役の子育て世代といたしましては、近くに遊園地があって、子ども達が気軽に遊びに行けるということは、渋川市にとって、郷土愛を育む点からも教育的視点からも良いことと考えるので、ぜひ継続していただくようお願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>よろしいでしょうか。ほかにありますか。</p>
高橋委員	<p>資料No.1-1の3ページ、学力体力向上支援ということで、具体的な施策として、子どもの学習支援事業に注目したいと思います。質問や疑問ではないのですが、方式がユニークだなと感じました。生活保護世帯の中学1年生から3年生まで、児童扶養手当受給者世帯は中学3年生が主な対象ということですが、生活が苦しい中でなかなか教育が行き届かず、置きざりにされてしまっている子どもの芽を伸ばすことに有効だと思います。</p> <p>また、学校の補習形式ではなく、家庭に派遣してマンツーマンで授業をするということは、非常に踏み込んだ斬新的なやり方だと思います。他にも実施しているところがあるかもしれませんが、先進的な手法を取り入れて、既に9人くらいの希望者があるということで、ぜひ実現をして定着してほしいと思っています。</p> <p>格差社会の原因は教育にあると言われていたこともあり、生活が苦しいと、しつけや学校教育も行き届かない面がでて、勉強が滞って高等教育に進めなくなり、就職の選択の幅が狭められて職に就けず貧困を迎えるという負の連鎖が、教育にも起因していると報道にもあります。</p> <p>それから、最近の傾向として、教育無償化を憲法の条文に書き込んだらどうかという提案が出るくらい、是非はともかく注目が集まっております。4兆円くらい係ると言われていますが。</p> <p>しぶかわスポーツクラブの設立趣旨には、スポーツのできる子と、スポーツが苦手な子と、遠ざかってしまう子の二極化を解消しようとありますが、勉強にも普通にどんどん勉強している子と、全然手に付かない子の二極化があります。そういったことに救いの手を伸ばしていただき、保健福祉部の事業が中心ですが、子どもに学習の癖をつけさせるというか、勉強の習慣を定着させるという手法は面白いと思います。</p> <p>勉強もできると面白くなるので、そのきっかけづくりにマンツーマンならばやりやすいと思うので、ぜひ実施していただきたいと思います。</p> <p>ただ、学習支援員の先生を集めにくい状況も多少あることや、事業が始まったばかりで予算が153万円と少ないので、これから希望者が増えれば、また考えていただけたらと思うので、希望者の実態をよく把握して、誰でも手を挙げやすいやり方をお願いいたします。</p>

社会福祉課長	<p>学習支援事業については、昨年度から対象者を募集したところ、9人の中学生が対象者となり、同時に支援員も募集いたしました。新聞の報道にもありましたが、学校の先生の退職者を中心に18人にお声掛けをしました。最終的には支援員1名、対象者9名で、本日の夕方から学習支援が始まります。これは、生活困窮者自立支援法が基にあり、特に教育による貧困の連鎖が叫ばれております。ある統計では、生活困窮世帯の25.1%が生活保護世帯出身という調査結果も出ています。今後、この事業は、支援員の確保を重点に置きながら、より多くの中学生が参加できる仕組みを作って参りたいと考えていますので、よろしくお願いたします。</p>
阿久津市長	<p>この事業については、もっと応募があると思ったのですが、手が挙がりませんでした。新聞にも掲載されましたが、市外からも意欲のある先生を募集したいと考えています。なぜ、この手法にしたかということ、子どもの貧困者食堂などがありますが、そういう人を集めることが差別であるということから、市としてはそういうことはしたくなかったんです。教育だけなら大学生で良かったのですが、そうではなく、家庭の相談や将来の相談も含めて行っていただくため、学校の先生ならば、三十数年先生をしている中で、色々な相談も受けられると、保護者の方が熟知していないことを助言していただければ、素晴らしい能力を發揮するかもしれませんし、そういう人が1人でも多くなれば、負の連鎖が無くなるわけで、市として支援したいと思えます。</p> <p>貧困家庭に生まれたのは本人の責任ではないので、行政としてしっかり支援し、立派な社会人に育てていくことが基本となりますので、今後ともよろしくお願いたします。</p>
阿久津市長	ほかに何かありますか。
池田教育委員長	<p>先ほど、格差社会是正のためのメスを入れると言うことで、高橋委員と同じ考えなんです。学習支援と合わせて、報道にもありましたが、家庭状況も把握できることが、派遣型の家庭訪問による支援活動の良さだと思います。家庭状況が分かることによって、早めに生活支援に繋がれることは、メリットがあると思います。ただ、中学生になると国語、数学、英語の学力差の出る教科は、免許を持っていないと中学生に教えるのは難しく、支援員の確保は難しいと思います。本市だけでなく、市外においても呼びかけていただければと思います。</p> <p>やはりやってみて色々な課題が出ることもあるので、改善できる所は改善して、事業が拡大して成功すればと願っておりますし、学習指導ということで、学校サイドからの連携も必要と思うので、支援員の先生との連絡調整も頭に入れながら進めていただければと思います。</p>
阿久津市長	<p>これと併せて指示していますが、フードバンクを考えています。家庭に行くので、その家庭状況がわかるので、月末はカップ麺だったということがわかれば、そこで栄養バランスが崩れるので、周りの人にわからず、お米や缶詰などそっと支援できると良いと思っています。</p>
阿久津市長	ほかに何かありますか。

新井委員

資料No.1-1の3ページの学力向上支援のスポーツ指導者派遣事業について、専門知識を有する指導者の派遣や、教職員の負担軽減はもっともだと思いますし、ぜひと思います。派遣される方の人としての資質はどうかということが、子どもを持つ親としては気になるところです。

もちろんスポーツなので、勝ち負けはついてきますが、そこに固執し、勝負至上主義に陥ってしまうと、子どものスポーツを通して人間を育てるとか、スポーツって良かったなと楽しい思いをさせるとか、といったところが欠落しがちになりかねないので、選考基準を厳しくしていただきたいと思いますし、派遣をとおして子ども達がスポーツを好きになって、渋川市はこういう風にスポーツを手助けしてくれてありがたいな、という思いが活かされるような派遣事業にして欲しいと思いますので、そういったところで何かご意見がありましたら伺いたいと思います。

スポーツ課長

ただ今のスポーツ指導者派遣事業につきましては、指導者の資質向上を目的に、平成28年度から日本体育協会公認資格であるスポーツリーダー資格を本市で取得できる仕組みを構築し実施しているところであります。体育協会では、公認資格を有している者の中から、専門部いわゆる野球、バスケット、バレー、ソフトテニスなどの各専門部の部長さんが推薦する指導者を派遣いたします。今後も、さらに指導者の向上を図れるよう研修等を行っていきと考えております。

新井委員

ありがとうございます。少し前に読んだ本に、子どもは褒められた経験が多いほど、へこたれない大人に成長するという統計が出ていたので、その実践ができる渋川市で、励ましを目的としたスポーツ派遣事業になって欲しいと思いますので、よろしく願いいたします。

阿久津市長

この派遣事業は退職した人が多くなると思うので、高齢者の生き甲斐づくりにもなると思います。60歳以上になりますと自分の孫に教えるように、丁寧に褒めながら指導するのではないかと思います。

市内で、ビニールハウスがつぶれたときに、おじいさんは辞めようと思ったところ、孫が後継者になったそうです。おじいさんは、孫はかわいいので丁寧に教えてうまくいっているそうです。この事業も、おじいさんが孫に教えるように丁寧に教えて成果が上がればと考えています。

高橋委員

先ほどの新井委員さんの意見に私も同感なんですが、小学校体育授業スポーツコーディネーター派遣事業についても、統一的な理念が共有されていないと、体育の先生と部活の先生では、言っていることが違うということになりかねないので心配です。

もちろん勝つため、優勝するために皆で頑張る、やり遂げる達成感を目指すのは、もっともなんですが、そういった人材の研修には留意していただきたいと思います。

また、市長が言ったように世代間の交流について、地域のおじいさん、おばさんが、悪いことをした子どもたちを注意できない感覚になっています。スポーツを通すと、そういったことが自然と身につくので、根性、忍耐を培うのも良いのですが、子ども達の心を傷つけないやり方で進めていただくようお願いいたします。

スポーツ課長	<p>スポーツ指導者派遣事業と小学校体育授業スポーツコーディネーター派遣事業を絡めてお話しさせていただきますが、スポーツコーディネーターは小学校に群馬大学の学生、または大学院生を群大の協力のもと派遣し、中学校には、日本体育協会公認資格を有している指導者を体育協会専門部を通じて派遣してるところであります。現行では、あくまで教員の補助という役どころで外部指導員が主ではありません。指導方法については、教員とよく打合せをするようお願いしているところでもあります。また、小学校のスポーツコーディネーター派遣時も、担任や体育の先生と打ち合わせて指導要領に則った補助をして欲しいとお願いしています。また、それぞれの指導者の意見交換の場として、指導者バンクというものを設置しております。そのなかで指導者の交流や資質の向上を図って行きたいと考えますので、よろしく願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>渋川市は、スポーツドクターを5名任命しております。成長期なので、体とか怪我とかの指導はスポーツドクター。それから、上武大学、群馬大学と組んでいるので、指導者の指導も大学から提示していただいて取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
高橋職務代理	<p>資料No.1－2の5節、地域文化の振興についてですが、自治会の歴史冊子や文化財の看板を作る際に、文化財保護課や歴史資料館にお世話になっていますが、丁寧に説明をしていただき有り難いと思っております。歴史的な文化財や資料は減ることはなくて、今後も益々増えると思えます。資料館をみると、保存する場所も狭くなって大変だと感じるもので、ぜひ今後も、ご支援とご理解をいただき、地域の人が使いたいときに、いつでも利用できるように進めていただきたいと思います。利用することで、地域への愛着も育ってくると思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
文化財保護課長	<p>ありがとうございます。引き続きご活用いただけるように、今後も進めていきますので、よろしく願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>ほかにありますか。 無いようでありますので、次の議題に移らせていただきます。</p>
<p>(2) しぶかわスポーツクラブの設立について</p>	
阿久津市長	<p>それでは、議題(2)「しぶかわスポーツクラブの設立について」に入ります。事務局から、説明をお願いします。</p>
<p>●【企画部長説明】 【資料No.2】</p>	
阿久津市長	<p>事務局の説明が終わりました。 しぶかわスポーツクラブについて、ご質問がありましたらよろしく願いいたします。</p>
池田教育委員長	<p>質問ということではなく、期待という形で意見を述べさせていただきます。企画部長の説明にあったように、しぶかわスポーツクラブは、少子高</p>

池田教育
委員長

齢化の様々な問題の解決のために取り組んできた「一市民、一スポーツ」、長い間スローガンとして掲げてきましたが、それを組織として推進していくためのクラブであることがよく分かりました。私は、設立趣意書について、興味深く読ませていただきました。特に課題としての①の健康寿命の延伸、②の幼児、児童のスポーツに対する二極化、③中学校における運動部活動支援は、渋川市だけでなく日本全体の喫緊の課題であると考えています。その解決を目指す上でも、このクラブの設立は意義が大きいと思います。このクラブの設立によって、スポーツを通してまず市民の健康づくり、青少年の健全育成、地域の活性化が組織化することで期待できると思います。2ページと3ページの役員、評議員は、かなりの人数が選出されていて、体育協会をはじめ各自治体、市職員、スポーツドクター、スポーツ団体など市全体でクラブ運営に係わる組織となっていて、スポーツ振興の底上げにも期待できると思います。中学校の運動部活動の支援については、学校教育にも大きく関わっていますし、教育委員会としても学校教育への貢献度もあって、クラブの活性化を強く願っております。以上です。

スポーツ
課長

大変貴重なご意見ありがとうございました。しぶかわスポーツクラブにおきましては、設立趣意書のとおり、市民の健康づくり、児童のスポーツに対する二極化の解消を図ることが大きな目的でございます。体育協会の役割、スポーツクラブの役割を明確にして、スポーツクラブでは運動していない子どもを、運動に目を向けさせる取り組みをしていきたいと思えます。7月からは、ちびっ子スポーツクラブということで、様々なスポーツを体験させていく取り組みや、一般市民向け、先日オープニングイベントを行いました。一般市民の方から、スポーツクラブができることがきっかけで、初めてハイキングに参加したが、山は大嫌いだったのに、皆さんと一緒に歩いたことが非常に楽しかったとご意見をいただきました。そのような中で、一人一人スポーツに目を向けていただいて、ご自分の楽しみや二極化の解消を図っていきたくと思えます。以上です。

後藤教育長

私の見解なのでご答弁は結構ですが、しぶかわスポーツクラブの設立に関連しまして、現在、教育委員会が抱えている課題について少し発言させていただきたいと思えます。それは、3点ありまして、体力の向上、事故防止、教職員多忙化解消についてであります。本市では、児童、生徒の体力向上のために、毎年度体力テストを実施していきまして、ここ数年の状況を見ると、走る、跳ぶ、投げる能力について特にテストを行っておりますが、テストの結果は全国平均を若干下回っていますが改善傾向にあります。

また、肥満傾向児の出現率についても、近年改善が見られる状況にあります。さらに、運動やスポーツをすることが好きかという本市独自のアンケートでも小学生、中学生とも好きと答えている児童、生徒の割合が上昇傾向にあります。こうした傾向の正確な分析は困難ではありますが、平成23年度から続けている小学校へのスポーツコーディネーター派遣、中学校部活動への指導員派遣、さらにスポーツ少年団活動も活発に行われていきまして、こうしたことも無縁ではないと思えます。

しぶかわスポーツクラブが本年5月16日に設立されましたが、クラブにおきましては、中学校に対する部活動支援、また幼児、児童に軽スポーツ等の体験教室が計画されております。より多くの幼児、児童、生徒が多

後藤教育長	種多様なスポーツ体験を通じて、生涯にわたって健康で有り続けるための基礎体力を身につけてもらう上で、また、運動好きの子ども育成の上でもこれからのクラブの活動に期待をしております。
	<p>一方で、ここ数年、部活動等において、生徒の生命に関わる重大事故の発生が報じられており、県内でも複数発生しております。それは、例えば中学校の部活動で顧問の先生もいらっしゃいますが、必ずしも専門性の無いケースもあります。そういった中で、重大事故が起こるケースがありますが、本市では、重大事故に至らないまでも骨折事故等が発生している状況があります。専門的な知識と経験、資格を有する指導員による適切な指導が受けられるとすれば幸いでありまして、支援を受ける方法等も検討していきたいと考えています。</p> <p>また、中学校の部活ですけれども、国では教員の多忙化解消の一環として、顧問教員に代わる外部指導員の位置づけを制度化するなど新たな改革に舵を切る動きがあります。将来的には、しぶかわスポーツクラブが行う部活支援の取り入れの可能性について、国の動きへの注視と併せて考えていきたいと思っております。以上です。</p>
阿久津市長	ほかに何か、しぶかわスポーツクラブについてご質問がありますか。
阿久津市長	今年スタートしたばかりですから、色々問題が出たり、改善したりしながら充実していくということになると思っております。どちらかという、渋川市が文科省より進んでいるという状況でございます。
	<p>中学の部活指導は、文科省でも相当議論しているようですが、学校の先生への負担が大きく授業にも支障が出ているという問題があり、渋川市として、先生の本来の仕事を支援できる一つの方法となります。スポーツクラブは、全国でも珍しい手法で、健康寿命というのは全国どこでも喫緊の課題なので、いち早く取り組んだということと、子どもは渋川市の宝で、子どもの教育は日本中共通のことなので、家庭、学校だけでなく、市をあげて取り組むと言うのが一般的で、これを実践しただけのことですから、これからもしっかりと取り組んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
阿久津市長	ほかにありますか。よろしいですか。それでは続きまして「その他」に移らせていただきます。

6 その他

(1) 渋川市青少年センターについて

阿久津市長	続きまして、次第の6「その他」に入ります。「渋川市青少年センターについて」事務局から説明をお願いします。
	<p style="text-align: center;">●【教育部長説明】 【資料No.3】</p>
阿久津市長	事務局の説明が終わりました。
	これについて、ご質問やご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

後藤教育長	<p>青少年センターについてですが、民間の人材から、青少年育成推進員、補導員、電話面接相談員等にご協力いただいているところです。渋川警察署からの情報提供では、ここ数年、市内の青少年犯罪は減少傾向であります。全国的に見ると、無慈悲な殺人や傷害事件が散見される状況です。</p> <p>これらにつきましては、色々原因はあると思いますが、少年犯罪が減少傾向にあるのは、青少年の生活態度、あまり外で遊ばなくなったとか価値観の変化、いわゆる草食化傾向が影響していることが挙げられます。また、ゲーム等の仮想空間での過激体験が影響して、人の痛み鈍感になる傾向があり、全国的に見た場合には、時として、それが凶悪犯罪の発生につながる状況になるのではと考えます。</p> <p>そして、携帯電話、ゲーム機、スマホ等の情報ツールで、親や周りに見えにくいところで情報通信がされており、対処が難しくなっている状況があります。こうした中で、青少年育成推進員を中心として情報ツールの適正使用の啓発を行っていただいております。補導員は、見回り、声かけ活動を行っていただいておりますが、統一ウェアを着て見回りをしていることは、非行少年等への抑止力になっていると思います。</p> <p>また、相談活動につきましても、電話やメールのやりとりで、ストレスから解放されるケースも考えられますし、地道ではありますが、継続的に取り組んでいく重要性を多くの関係者との間で共有し、一朝一夕には解決できないが地道にやることで、大きな事件が起こらないように抑止していきたいと思っております。以上です。</p>
阿久津市長	ほかに何かありますか。
高橋職務代理	これは意見ですが、地域や自治会の協力を得て活動していますので、地域に戻った際に、こういう活動を伝えて、地域で子どもを守る、子どもに働きかけるといった雰囲気を作れるように話をさせていただいて、より一層活動が充実するようにして行ければよいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
阿久津市長	大変ありがたいことで、指導員さんとか、相談員さんとか、ご協力していただけるので心強く思っており、うれしく思っております。これからも良く連携しながら、また、この活動を市民に周知することで活動しやすくなるということでもありますので、担当のほうから、いろいろな機会に周知をして活動を広めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
阿久津市長	ほかにありますか。 無いようですので、本日の会議は全て終了させていただきます。事務局からは何かありますか。
企画課長	事務局からは特にございませぬ。
阿久津市長	委員の皆さんから何かありますか。 (各委員からは「特になし」)
阿久津市長	では、以上をもちまして、本日の協議事項については、全て終了いたし

阿久津市長	ました。 これで議長の座を降ろさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。
-------	---

7 閉 会

企画課長	以上をもちまして、平成29年度第1回渋川市総合教育会議を閉会とさせていただきます。 長時間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。
------	---